



BOAT SETTING IN HEAVY AIR 強風時のボートセッティングについて



2017.3.12 Mid Winter Regatta in ENOSHIMA

Text by Natsuki Motoyoshi



MAIN SAIL



メインセイルのセッティングにおける重要なポイント

- ① マストベンド
- ② ドラフトポジションとリターン
- ③ マストサギング
- ④ バテンテンション
- ⑤ シーティング



① マストベンド

強風ではメインセイルがブレイクしているボートを見かけるが良い状態ではない。いかにブレイクさせずに適正なパワーにして、ボートが前に出ていくチューニングに出来るかがポイントになる。





② ドラフトポジションとリターン

リターンとはセールのリーチセクションのフックのことで、簡単には、大きければ角度、小さければスピードの出るセールと言える。テーザーの場合、フルバテンでローチが大きいいため、ドラフトバックした際に、リーチのリターンが非常に大きくなってしまふ。そのためにカニンガムをタイトに引き適正なポジションへ戻す必要がある。





Case1 リターンが小さなセイル MAIN SAIL

Case1 リターンが小さなセイル

リターンが小さい場合は出口部分の風が流れやすく
スピードは出しやすくなるが、ウエザーヘルムが減
少していくので極端な場合はヘルムが抜けたような
フィーリングになり走りづらくなる。





Case1 リターンが小さなセイル main SAIL

Case2 リターンが大きなセイル

リターンが大きければ悪いという単純なものではないが、特徴としてはウエザーが強くなり、ボートスピードが出しづらいという結果になる。すなわち、コンディションによってリターンの量は変化させる必要があるということになる。





③ マストサギング

マストサギング（決してサイドベンドではない）は主にダイヤモンドのテンションに起因する。ダイヤモンドの作用には諸説あるが、私は緩めていった方がボートはパワーアップしていくと考えている。

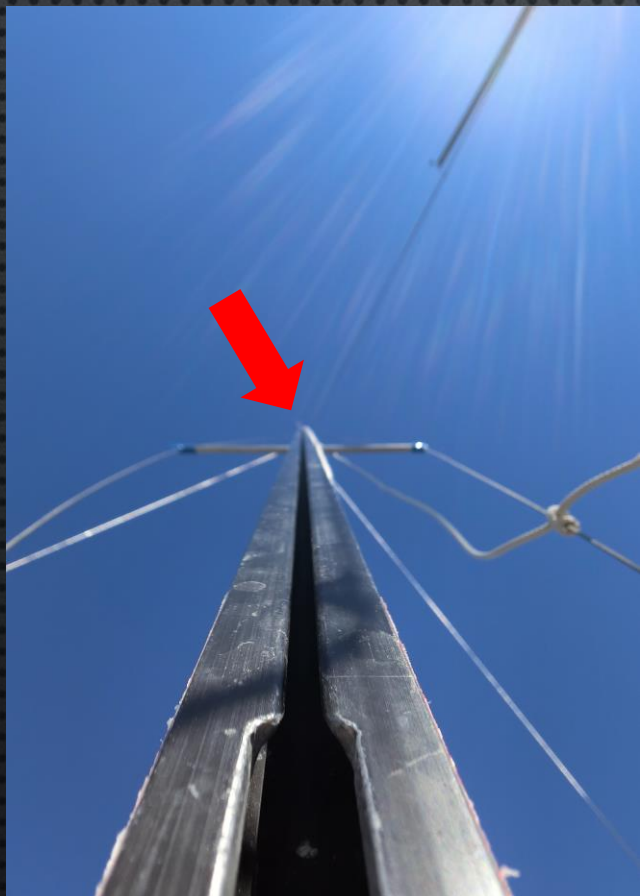
テーザーの場合、ボトムセクションのリグはステップとサイドステーの取付位置で支えられており、ダイヤモンドはその間の横方向へのサギングを決めており、なおかつ後方へのベンドを抑制するのにも少し作用している。





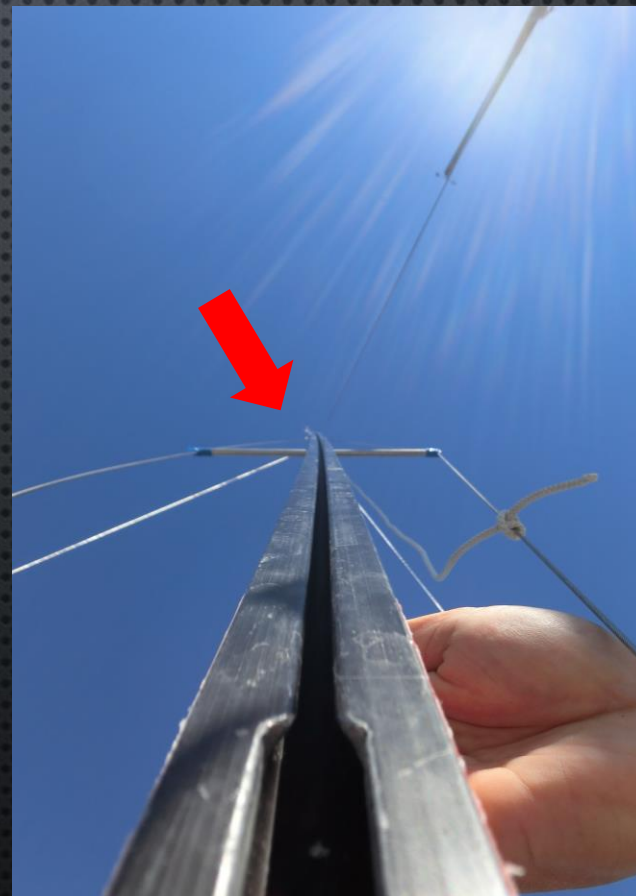
Case 1

ダイヤモンドのテンションが強い場合



Case 2

ダイヤモンドのテンションが弱い場合





④ バテンテンション

テーザーのマストの特徴はトップマストがボトムに比べ柔らかい。そのためメインセールのラフカーブに対してトップマストが曲がりすぎてしまう。これによりセールが浅くなって、ツイストしていく傾向がある。中風までは上半分のバテンは強くしてセールシェイプを保ち、強風になるにつれて上半分のバテンを緩めていきツイストとセールを浅くしていくことが必要である。





⑤ シーティング

メインシーティングについては、ほぼすべての風域でトラベラーを推奨する。主な理由としては、マストが非常にソフトなのでバングシーティングを行った場合にマストが曲がりすぎてオーバーベンドしてしまうことと、リーチに一定のテンションを与えることによりフォアステーテンションが安定するためである。





HEAD SAIL



ヘッドセイルのセッティングにおける重要なポイント

- ① フォアステーテンション
- ② ジブハリヤード
- ③ ジブタックとシーティングアングル
- ④ ジブトラック



① フォアステーテンション

強風時にサギングが大きくなると、ドラフトポジションが後方に移動し、リーチのリターンが大きくなる。これによりスロットルが狭くなりメインセールがバックウインドを拾ってしまう。またセール全体が深くなってしまい、デパワーすることができない。さらにフォアステーがパフが入る度に下へ流れることにより、バウが振られやすく非常にハンドリングしづらい。ダクロンの頃よりもセールがフルバテンでリターンが大きくなる傾向もあり、フォアテンションはダクロンセールよりも必要になっている。中風以下と強風でサイドステーを半ピン動かし、2種類のチューニングを持つ必要がある。



② ジブハリヤード

ジブハリヤードはメインセイルのカニンガムと同様にドラフトポジションの変化に大きく関わってくる。また、フォアステーのサギングと同じような現象が起きる。さらに強風時にはかなりタイトにテンションをいれることによりフォアテンションの助けにもなってくれる。

(リーチングに移行しサイドを緩める前にハリヤードを抜かないとセール損傷もありえる)



Case1
ジブハリヤードが強い場合



Case1
ジブハリヤードが弱い場合





③ ジブタックとシーティングアングル

強風時には適正なツイストとセールを浅くしていくことがポイントである。シーティングアングルを浅くしていきセール全体を浅く、そしてトップセクションをツイストさせることによりパワーダウンすることが出来る。ジブのシーティングアングルはクリューボードでも変えることができるがタックで変更するのがおススメである。

(タック上げ＝クリューボード上げ)。



Case 1 シーティングアングルが浅い場合



Case 1 シーティングアングルが深い場合





④ ジブトラック

ジブトラックの位置は特に強風域で非常に大切なポイント。メインセールがブレイクしている場合スロットルを広げるためにリーダーを外にずらしていく。N~3個 くらいまで。ジブの風に対するアタックアングルを決めることが出来るので中風までは上り角度に影響してくる。また標準のトラックは左右非対称になっているためマストステップからの距離を測ってイーブンの位置を確認したほうが良い。



Case 1 ジブトラックが内側の場合



Case 1 ジブトラックが外側の場合





**CENTER
BOARD**



センターボード

セールを適正なパワーに調整しているにもかかわらず、セールがブレイクしてしまう場合センターが下がりすぎている可能性がある。徐々に上げていき、その時の風速でセールがギリギリブレイクしないところまで上げる。もちろんレース中も風速が変わり始めればセーリングしながら高さを変更すべきである。

